

# 交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。  
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

## Jオープン (店頭・小型株)

追加型投信／国内／株式

第24期末（2018年6月29日）	
基準価額	19,719円
純資産総額	7,274百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	+27.6%
分配金合計	2,300円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第24期（決算日：2018年6月29日）

作成対象期間  
(2017年6月30日～2018年6月29日)

信託期間を従来の2019年7月1日から2024年6月28日へ延長しました。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の小型株式を主要投資対象とし、独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定し、積極的な値上がり利益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

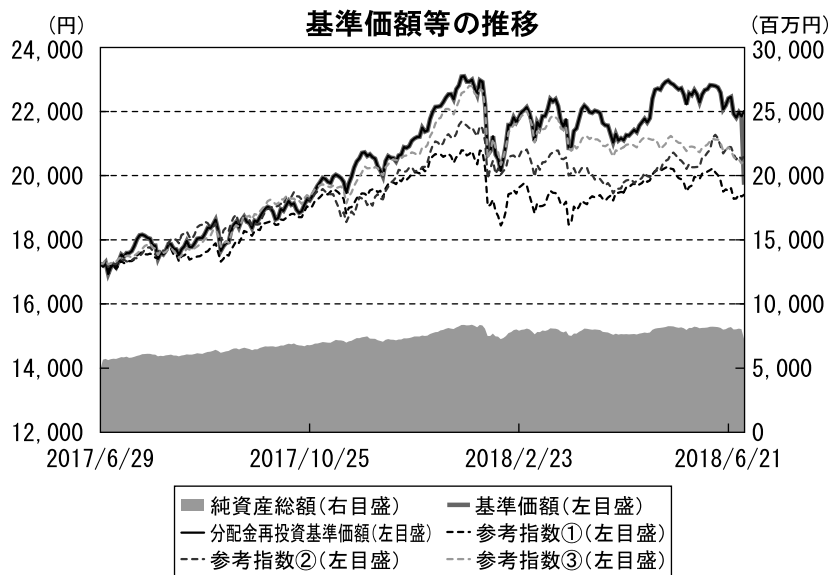
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

（第24期：2017/6/30～2018/6/29）

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ27.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	組み入れを行った個別銘柄の株価上昇が基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	組み入れを行った一部の個別銘柄の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年6月30日～2018年6月29日）



記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 271	% 1.328	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(116)	(0.566)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(133)	(0.653)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 22)	(0.109)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	30	0.147	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 30)	(0.147)	
(c) その他費用	1	0.003	(c) その他費用＝期中のその他費用÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	302	1.478	
期中の平均基準価額は、20,413円です。			

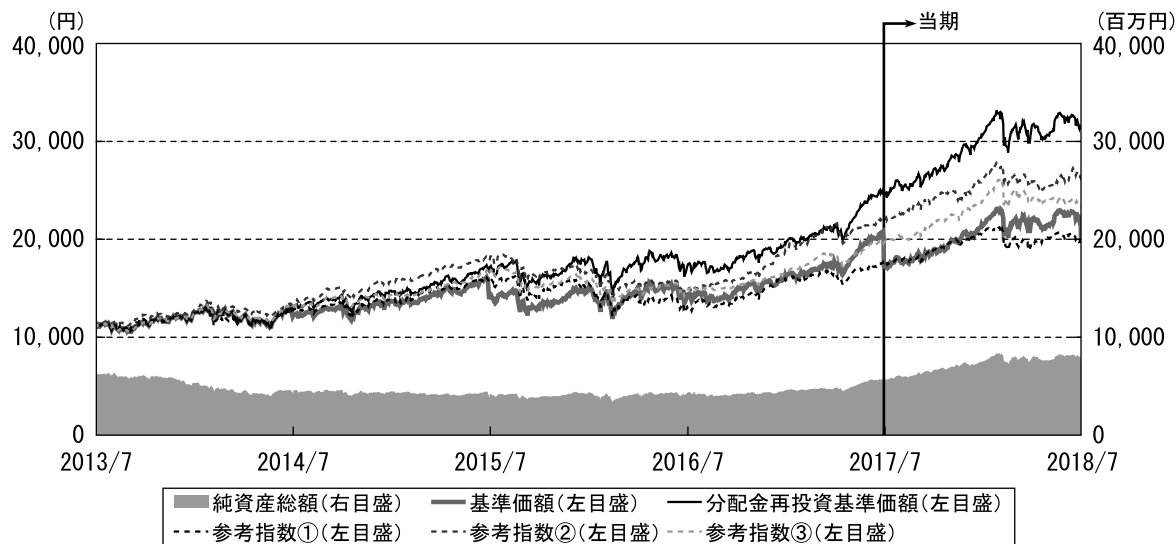
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年7月1日～2018年6月29日)



・分配金再投資基準価額、参考指数は、2013年7月1日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2013/7/1 期初	2014/6/30 決算日	2015/6/29 決算日	2016/6/29 決算日	2017/6/29 決算日	2018/6/29 決算日
基準価額 (円)	10,890	12,101	13,898	14,082	17,257	19,719
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	900	1,700	100	3,100	2,300
分配金再投資基準価額騰落率	—	19.4%	28.9%	2.0%	44.6%	27.6%
参考指数①騰落率	—	16.9%	22.5%	-16.3%	35.2%	12.5%
参考指数②騰落率	—	23.3%	32.8%	-17.2%	49.8%	19.5%
参考指数③騰落率	—	20.1%	25.3%	-10.5%	34.6%	18.6%
純資産総額 (百万円)	5,936	4,306	3,850	4,281	4,875	7,274

・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、①東証小型株価指数、②東証二部株価指数、③日経ジャスダック平均株価です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

（第24期：2017/6/30～2018/6/29）

### ◎株式市況

- ・株式市況は国内企業業績が堅調に推移していることや2017年10月には衆議院選挙で与党が勝利したことなどから期首から2018年1月下旬まで上昇基調が続きました。
- ・2月初旬に米国で発表された雇用統計を受け、米国長期金利が急上昇したことなどから世界的な株安となり、3月下旬まで調整局面が続きました。
- ・その後は多くの企業で決算発表を迎え、堅調な企業業績が評価されたことや北朝鮮情勢など地政学リスクの緩和などから上昇した後、米国の保護主義的な通商政策などが懸念され、期末まで一進一退の動きが続きました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

- ・当ファンドでは国内小型株式のうち、独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を中心に選別投資を行っています。
- ・組入銘柄数は概ね85～95銘柄程度で推移させました。目標株価への到達もしくは接近、ファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相対比較などを勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、半導体封止材料大手の住友ベークライトやサーボモーターなどを手掛ける山洋電気など、47銘柄を新規に組み入れました。また、コイルメーカーのスミダコーポレーションや各種生産設備を手掛ける平田機工など38銘柄を全株売却しました。

以上のような運用の結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

個別銘柄で特に寄与、影響が大きかった銘柄は以下の通りです。

### ◎銘柄

#### （プラス要因）

- ・D. A. コンソーシアムホールディングス：同社グループで手掛けるインターネット広告の拡大に着目し、期首より保有しました。インターネット広告市場は広告市場全体を上回る成長となり、同社業績も恩恵を受け、株価が上昇してプラスに寄与しました。
- ・ノーリツ鋼機：ものづくりやヘルスケアなど各事業で保有する子会社群の成長に着目し、期首より保有しました。業績好調な子会社が多く、持ち株会社である同社の連結業績に貢献したことなどから株価が上昇してプラスに寄与しました。なお、期中に全株売却しました。

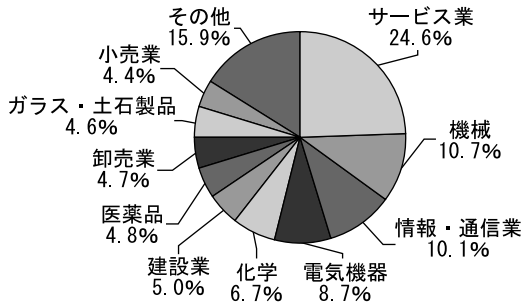
#### （マイナス要因）

- ・TOWA：同社が手掛ける半導体を樹脂で封止するためのモールドング装置に着目し、期首より保有しました。売上は堅調に推移していましたが、製品ミックスの悪化や外注費用などのコスト増が利益を圧迫したことなどから株価は下落し、マイナスに影響しました。

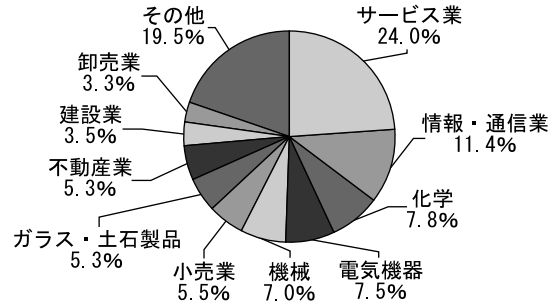
（ご参考）

組入上位10業種

期首（2017年6月29日）



期末（2018年6月29日）



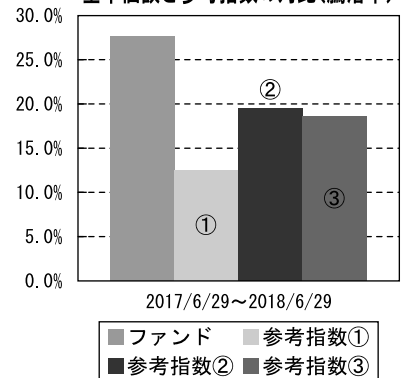
（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は①東証小型株価指数、②東証二部株価指数、③日経ジャスダック平均株価です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第24期
	2017年6月30日～2018年6月29日
当期分配金	2,300
（対基準価額比率）	10.446%
当期の収益	2,300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,718

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ◎運用環境の見通し

- ・企業の2017年度決算は大きなサプライズはなく、2018年度業績見通しは全体的には増益基調が続く堅調なものだと思っています。為替動向に大きな変動がなければ、年後半に向けてこの見通しを確認、場合によっては上振れの動きを期待しています。引き続き保有銘柄を中心に今後の業績動向の推移や進捗を注視したいと考えています。
- ・堅調な企業業績を背景に今後の株価動向も堅調な見通しを考えていますが、一方で、マクロ環境は国内外で不安定要素が依然として存在していることには変化がありません。特に海外は北朝鮮等地政学リスクなど不安定要素が多く、今後の動向に注意が必要だと考えています。
- ・ここ数年の株価上昇において、小型株の上昇は大型株を上回るものでした。しかしながら、日本の小型株市場はいまだ非効率的で、投資家に十分に認知されていない成長企業は多く存在すると考えており、こういった企業への注目度が高まることが予想され、投資機会は拡大すると考えています。

### ◎今後の運用方針

- ・主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。
- ・今後の株式市場は、外部環境をにらみつつ各企業固有の業績トレンドや中期的な成長性などによる銘柄選別を継続するものと考えており、当ファンドでもこうした観点からの銘柄選別に注力していく方針です。
- ・銘柄選別の視点としては、イノベーションの進展などにより今後成長が見込まれる市場や、独自の技術革新や市場開拓により新しい製品やサービスを創造する個別企業などに注目し、中長期的な成長性を有する企業に、バリュエーション面に配慮しつつ選別投資を継続します。
- ・また、個別銘柄選別をコアの投資戦略としつつ、マーケット全体の方向性やセクター動向なども注視していきたいと考えています。
- ・今後も綿密な企業調査により、中長期的な成長性の高い小型株式への投資機会を積極的に探り、パフォーマンスの獲得を図る方針です。



## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）  
（2018年1月1日）
- ・信託期間を従来の2019年7月1日から2024年6月28日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。  
（2018年3月29日）

### ◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

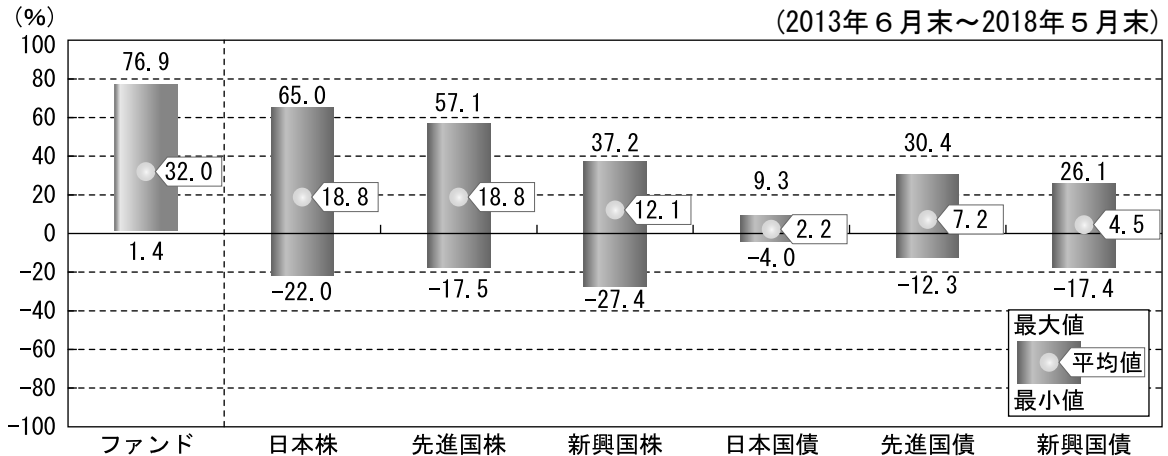
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2024年6月28日[当初、2019年7月1日]まで（1994年6月30日設定）
運用方針	独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定して投資し、信託財産の積極的な成長をめざします。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、小型株を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の金融商品取引所に上場されている小型株を主要投資対象とし、独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定して投資し、積極的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年6月から2018年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2018年6月29日現在)

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：94銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	D. A. コンソーシアムホールディングス	株式	日本	サービス業	3.4%
2	住友ベークライト	株式	日本	化学	3.2%
3	ジャパンインベストメントアドバイザー	株式	日本	証券、商品先物取引業	3.1%
4	ジャパンマテリアル	株式	日本	サービス業	2.6%
5	レーザーテック	株式	日本	電気機器	2.6%
6	ビジョン	株式	日本	情報・通信業	2.6%
7	GMOインターネット	株式	日本	情報・通信業	2.6%
8	九電工	株式	日本	建設業	2.4%
9	シュッピン	株式	日本	小売業	2.3%
10	オープンハウス	株式	日本	不動産業	2.2%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

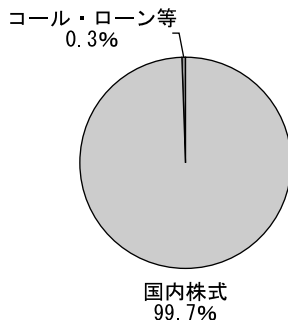
#### 純資産等

項目	第24期末 2018年6月29日
純資産総額	7,274,376,884円
受益権口数	3,689,020,028口
1万口当たり基準価額	19,719円

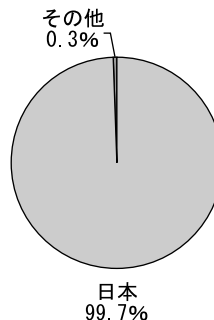
- ・当期中において  
追加設定元本は 3,672,609,051円  
同解約元本は 2,808,668,751円 です。

#### 種別構成等

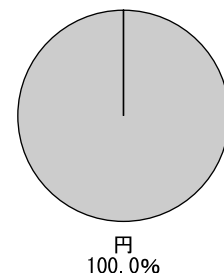
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『東証小型株価指数』について

東証小型株価指数とは、東証市場第一部の銘柄のうち「小型株」を構成銘柄とする「時価総額加重型」の株価指数です。「小型株」は、東証市場一部全体の動きを表す東証株価指数（TOPIX）の構成銘柄のうち、時価総額と流動性の高い、大型株（100銘柄）及び中型株（400銘柄）を除いた銘柄を示します。

### ○ファンドの参考指数である『東証二部株価指数』について

東証二部株価指数とは、東京証券取引所第二部全銘柄を対象として算出した株価指数で、東京証券取引所第二部市場全体の値動きを表す「時価総額加重型」の株価指数です。

・東証小型株価指数および東証二部株価指数に関する知的財産権その他の一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、同指数の算出もしくは公表の方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止を行う権利を有していません。  
東京証券取引所は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

### ○ファンドの参考指数である『日経ジャスダック平均株価』について

日経ジャスダック平均株価は東京証券取引所ジャスダックに上場する全銘柄（日本銀行、不動産投資信託、外国株および整理銘柄を除く）を対象に「ダウ式平均」で算出する平均株価です。日経ジャスダック平均株価に関する著作権並びに「日経」及び日経ジャスダック平均株価の表示に対する知的財産権その他一切の権利は、全て日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経ジャスダック平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。日本経済新聞社は、日経ジャスダック平均株価の構成銘柄、計算方法、その他日経ジャスダック平均株価の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### **NOMURA-BPI（国債）**

NOMURA-BPIとは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村証券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村証券株式会社は一切関係ありません。

### **FTSE世界国債インデックス（除く日本）**

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### **JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド**

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信